

政策 02 保健・福祉・医療に関する政策

施策 02 地域福祉の推進

あるべき姿

福祉意識が高まり、お互いに助け合う市民が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	地域単位での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合 (%) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
			33.8	35.7	38.8	35.0
評価	<p>(状況) 地域単位での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合は、基準値(33.8%)と比較して、5ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 社協、支部社協が行う交流のある地域づくりの取組により、地域の支え合い、助け合いによる地域づくりを推進したことが挙げられます。今後も、多種多様化、複雑化する福祉問題に対し、速やかな対応が望めるよう、地域課題の発掘と解決を行うネットワークを強化し、市民の福祉意識を高められるように努めます。</p>					対前年度

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉ボランティアに参加した市民の割合 (%) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		14.4	15.1	11.9	20.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 福祉ボランティアに参加した市民の割合は、基準値(14.4%)と比較して、2.5ポイント低下しました。</p> <p>(要因) 高齢化社会によりボランティアの担い手が減少していることが挙げられます。今後は、次世代の担い手養成などに取り組みます。</p>					対前年度
		☔ (低下)				
<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	地域コーディネーター数 (人) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		70	67	67	80	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 地域コーディネーター数は、基準値(70人)と比較して、横ばいです。</p> <p>(要因) 各支部社協において、地域コーディネーターを設置し、地域福祉の担い手の増加に努めました。今後も、さらに地域福祉の重要性を啓発し、地域コーディネーターなどの、地域を支える人材の発掘に努めます。</p>					対前年度
		☁ (横ばい)				
<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉のボランティア及びNPO団体数 (団体) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		143	116	103	170	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 福祉のボランティア及びNPO団体数は、基準値(143団体)と比較して、40団体減少しました。</p> <p>(要因) 高齢化社会によりボランティア団体の維持や活動が難しくなったことが挙げられます。実際に活動していても未登録のボランティア団体が見受けられることから、今後は、登録により地域の情報が得られるなどのメリットを発信し、登録を推奨するとともに、地域福祉の重要性を啓発し、地域を支える担い手を増やすように努めます。また、R2年度からボランティアポイント事業との連携も考え担い手増加に努めます。</p>					対前年度
		☔ (低下)				
<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	地区懇談会を開催した支部社会福祉協議会の割合 (%) 【健康福祉部】	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		87.5	100	100	100.0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 地区懇談会を開催した支部社会福祉協議会の割合は、基準値(87.5%)と比較して、12.5ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 各支部社協では地区懇談会のほかに福祉委員会などを開催しており、地区懇談会の代替りの役割を果たしている実情もあります。今後も、複雑・多様化する福祉課題に対して、速やかな対応が望めるよう情報交換や交流のできる場を充実させていきます。</p>					対前年度
		☀ (向上)				
<p>目 標 達 成 度</p> <p>☀ (達成)</p>						

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	民生委員・児童委員の相談件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	3,127	3,091	2,200	4,040
評価	(状況) 民生委員・児童委員の相談件数は、基準値(3,127件)と比較して、927件減少しました。					対 前年度
	(要因) 高齢者や子供に関する相談等の件数が減少していることが挙げられます。今後においても、少子高齢化社会の中、民生委員・児童委員の活動状況等を周知することで、市民の方が安心して、民生委員・児童委員へ相談できるような環境作りに取り組み、相談件数の増加を図っていきます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業03 誰もが自分らしく生きるための仕組みづくり

指標	市民後見人研修会の参加人数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	-	22	23	100
評価	(状況) 市民後見人研修会の参加人数は、フォローアップ研修を実施した結果、23名でした。今後、市民後見人の活躍を想定し、引き続きフォローアップ研修を実施するほか、市民後見人が更に認知されるよう努めます。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	近隣とのコミュニケーション・交友関係が構築されている市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	42.3	41.8	39.6	55.0
評価	(状況) 近隣とのコミュニケーション・交友関係が構築されている市民の割合は、基準値(42.3%)と比較して、2.7ポイント低下しました。					対 前年度
	(要因) 地域を支えるネットワークづくり、安心して生活ができる環境づくりなどに取り組みましたが、近所とのコミュニケーション・交友関係を必要としない人達へ、近所との交友の必要性をうまく意識付けられなかったことが挙げられます。今後も、「支え合い、助け合う」地域づくり、住民同士の交流を進めていきます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	避難行動要支援者名簿登録者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	629	522	487	900
評価	(状況) 避難行動要支援者名簿登録者数は、基準値(629人)と比較して、142人減少しました。					対 前年度
	(要因) 避難行動要支援者名簿の登録については、制度法改正により個人情報の取り扱いの厳格化が図られ、登録する側も躊躇するようになったことや制度の認知度が低いことが挙げられます。今後も、避難行動要支援者名簿の重要性・必要性について市民に周知啓発し、援護を必要とする人たちが、誰もが孤立せず、安心して生活ができる環境づくりに努めます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	社会福祉協議会や支部社会福祉協議会、市で開催しているサロンの開催箇所数（箇所） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H27)	(H30)	(R01)	(R03)	
評価	<p>（状況）サロンの開催箇所は、基準値(83箇所)と比較して、15箇所増加しました。</p> <p>（要因）地域住民と触れ合える、そして交流できる場を提供してきたことにより、参加する場所が定着してきているが挙げられます。新たな生活様式も考慮したサロン活動が求められていますが、今後も、地域の実情に即した多種・多様なサロン活動を充実させ、誰もが自立して暮らすための地域住民のふれあいや交流が促進できるように努めます。</p>	83	108	98	100	☀ (向上)
						☔ (低下)
						目標達成度 ■■■ (高)